



安全安心な地域づくり～3モデル地区の紹介

市は、安全安心なまちづくりを目的に、事故やけがの予防を目指して先導的な取り組みをする3地区をセーフコミュニティ安全安心モデル地区に指定し、活動費の一部を補助しました。3地区の主な取り組みを紹介します。

●モデル1

交通事故を減らしたい

東小稲町内会長 太田 善哉さん



町内は交差点が多く、頻繁に交通事故が発生している危険箇所があります。そこで、車やバイクの運転手に「一時停止」を呼びかける看板を設置し、注意を呼びかけています。また、自転車の交通事故を予防するために、車輪に取り付ける反射材を購入し、会員に配布しました。わたしたちの活動が周りの地域に広がり、市全体の交通事故の減少につながってほしいと思います。



交通事故多発交差点に看板を設置する会員

●モデル2

高齢者の孤独を防ぎたい

日の出町町内会長 竹原 弘さん



65歳以上のかたが4人に1人の高齢化社会を迎え、核家族化が進行し高齢者だけの世帯が増えてきました。そこで、高齢者を孤独にさせないために、町内会に高齢者・防災企画チームを設置し、70歳以上の1～2人世帯を対象に声がけ運動の仕組みを作りました。また、火災予防の一環として住宅用火災警報器の共同購入に対し、助成などを行いました。これからも地域の絆を深めるような町内会活動を目指していきます。



新たに設置された住宅用火災警報器

●モデル3

町内会は地域力の原点

向切田町内会長 白山 修二さん



平成16、18年と相次いで町内の用水路に転落し、2人が亡くなる事故が発生しました。この事故を契機に町内会では、用水路沿いの農道に転落防止柵を設置する活動を続けています。また、冬期間は歩道確保のために会員が自発的にトラクターを運転して除雪作業なども行っています。町内会は地域力の原点です。地域の連携を大切にして、これからも安全安心な地域づくりに取り組んでいきたいと思っています。



用水路の転落防止柵を設置する会員

平成24年度モデル地域募集

モデル地域として活動してみませんか

子どもや高齢者の安全安心な環境づくりに取り組む地域を応援します。活動組織は町内会に限りません。町内会の代表者、学校関係者、市民団体など3人以上で構成する任意の活動組織でもお申し込みできます。

募集期間 4月9日(月)～5月2日(水)

募集地域 3地域 補助金額 7万円

※申し込み多数の場合は書類選考させていただきます。

モデル地域活動の例

- ▶災害時の支援体制づくり ▶交通事故予防 ▶転倒予防
- ▶暴力・虐待予防

申申し込み用紙に記入し、セーフコミュニティ推進室まで
※申し込み用紙は市ホームページからダウンロードできます。

..... 地域の皆さんで防災活動に取り組みましょう

地域の皆さんが主体となって、防災について話し合う機会を設けたり、避難訓練に取り組みましょう。



自主防災組織による初期消火訓練

また、町内会などで組織的な防災活動に取り組めるよう「自主防災組織」を結成して、避難訓練や大規模災害に備えましょう。活動を支援するため、市職員や消防署員が地域に出向いて防災関連の講話を無料で開催していますので、ご利用ください(右表参照)。

講話の内容	問い合わせ先
▶自主防災組織づくりとその活動について ▶地域防災力の向上に向けて	市役所総務課 ☎516703
防火、防災について	消防本部予防課 ☎254111
救急救命講習について	十和田消防署 ☎254115 十和田湖消防署 ☎2241